

執筆者紹介

東山 篤規 (ひがしやま あつき)

立命館大学文学部教授

専門／実験心理学

主な著書・論文／

『両眼視空間と輻輳の機能』(「心理学モノグラフ」18、日本心理学会モノグラフ委員会、1987年)、『触覚と痛み』(共著、ブレーン出版、2000年)、

「Perceived size and perceived distance of virtual images」(共著、*Perception & Psychophysics*, Vol.66, 2004年)

中川 吉晴 (なかがわ よしはる)

立命館大学文学部助教授

専門／臨床心理学・ホリスティック教育論

主な著書・論文／

「Education for Awakening: An Eastern Approach to Holistic Education」(*Foundations of holistic education series v.2*, Foundation for Educational Renewal, USA, 2000年)

「Nurturing Our Wholeness: Perspectives on Spirituality in Education」(共編著、*Foundations of holistic education series v.6*, Foundation for Educational Renewal, USA, 2002年)

『ホリスティック教育ガイドブック』(共編著、せせらぎ出版、2003年)

高橋 正人 (たかはし まさと)

立命館大学産業社会学部教授

専門／社会老年学

主な著書・論文／

『『古い』の変貌と再生』(『新・人間性の危機と再生』、法律文化社、2001年)

「高齢者の社会参加と生きがい対策と生涯学習」(『老人福祉論』、中央法規出版、2001年)

「高齢化社会における家族」(『わかりやすい家族関係学』、ミネルヴァ書房、1996年)

土田 宣明 (つちだ のりあき)

立命館大学文学部助教授

専門／心理学

主な著書・論文／

「老年期の抑制機能に関する研究の意義と現状」(『心理学評論』、1998年)

「実行機能の発達に関する基礎的研究—反応の抑制過程に注目して—」(平成12-14年度科学研究費補助金研究成果報告書、2003年)

「音読・計算課題の遂行とコミュニケーションの要因が老年期痴呆患者に対する影響に関する研究:予備的分析」(吉田 甫・大川一郎との共同研究、『立命館人間科学研究』第7号、2004年)

松原 平 (まつばら たいら)

北九州市福祉業団北九州市社会福祉研修所

専門／知的障害児・者福祉

主な著書・論文／

「知的障害をもつ人に本当の要求の場があったのか?—居住施設における『集会』の機能」(『行動分析学研究』8(1)、1995年)

「ADHD児の反社会的行動に対する行動分析的アプローチの試み」(『発達障害研究』23(2)、2001年)

「利用者と援助者を支える仕組み」(『立命館人間科学研究』第2号、2001年)